

授業者 土屋 岳
学校名 山形県立高畠高等学校
教科書 新公共（第一学習社）

1 単元名 政治参加と公正な世論形成

2 単元の目標

- (1) 現代の政治・選挙のあり方についてだけでなく、自分たちの生活をよりよくするためにはどのような観点で政策や施策を考えていく必要があるのかも理解する。 (知識・技能)
- (2) 現代の政治・選挙の課題をさまざまな立場・考え方をふまえて、多面的・多角的に考察し、どのように政治や選挙に関わっていくことでよりよい社会づくりに携わっていくことができるのかを判断する。また、自分たちの住んでいる町に必要な政策・施策を考えて、発表することができる。 (思考・判断・表現)
- (3) 政治や選挙の問題・課題を自分事と捉え、自分なりの視点で判断し、明確な理由や根拠をもってどう行動していくのかを確立することができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

現代の政治や選挙の制度を学ぶことを通して、政治と選挙が私たちとどう関わっているかを学習する単元である。また、政治や選挙にどのように自分が関わっていくのかを考えることを通して、主権者としての意識を高めることもできる単元である。

(2) 生徒観

受講生とは、女子17名、男子8名の合計25名である。授業に対しては、真剣に取り組む生徒が多いが、全体の前で発言するのは苦手な生徒が多い。一方で、ペアワークやグループワークでは、しっかりと話しながら活動を進めることができる。しかし、他者と協力しながら考えや議論を深めていくことが苦手な生徒が多い。

(3) 指導観

現代では、若者の政治離れや選挙離れが問題視されているが、普段生徒らと接していると政治や選挙に関心がないというよりは、「自分たちが関わっていいものではない」というような認識でいるように感じる。そこで、政治や選挙が自分たちの生活にどう関わっているのかを身近に感じてもらいながら、自分たちでも政治や選挙に関わることで自分の考えを主張できることに気付かせたい。そして、自分たちの住んでいる町をよりよくするためにはどういうことをしていくのが良いのかを考えることを通して、高校生でも政治に参加することができることにも気づかせながら、理解を深めさせたい。

4 ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

【多様性】：政治や選挙への関わり方にもさまざまな形があることに気づき、自分がどう関わっていくのかを考える。

【相互性】：自分たちの生活において、さまざまな形で政治が関わっていることに気付く。

【責任制】：1人の主権者として、無関心ではいけないこと、自分の考えや選択も政治に影響を与えていることや自分たちの町は自分たちでよりよくしていくことが大切であることを理解する。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

【多面的・総合的に考える力】：

どのような視点や観点から地域をよりよくなる政策や施策をすることが必要かを考え、どのような政策や施策が効果的を判断できるようにする。

【進んで参加する態度】：

ペアワークやグループワークにおいて、自分の考えを他者に伝えることを通して、協働性を養う。

・本学習で変容を促すESDの価値観

【政治への虚無感】：

自分たちではどうにもできないように感じている政治に対して、自分たちでも積極的に関わっていく方法はさまざまあることに気づき、どのような人たちが、どのような関わりや行動をしているのかを知ることを通して、自分なりの関わり方や行動を模索する。

・達成が期待されるSDGs

【10 人や国の不平等をなくそう】

【11 住み続けられるまちづくり】

5、単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代における政治や選挙の制度や政治や選挙への多様な関わり方を理解する。	どのように政治や選挙に関わっていくことでよりよい社会づくりに携わっていくことができるのかを判断する。また、自分たちの住んでいる町をよりよくしていくための政策・施策を考えて、表現している。	政治や選挙の問題・課題を自分事と捉え、自分なりの視点で判断し、明確な理由や根拠をもって他者に考えを積極的に表現できる。

6 指導計画（全10時間）

時間	学習内容	指導上の留意点 ◎評価 ◇支援
1	私たちと選挙 ・選挙の現状と投票の意味を考える	◇具体的な資料やデータを用いる ◎ポートフォリオ
2	選挙の現状と課題 ・選挙制度を理解し、そこから生まれる課題を把握する	◎授業プリント・ポートフォリオ
3	選挙権あるある ・選挙権を持ったらできることできないこと ・選挙権をもったときにどうするかを考える	◇クイズ形式にする ◎レポート
4	世論形成と政治参加 ・どう政治を知り、どう公正に判断すべきかを	◇自分たちの身近なことを題材にする ◎ポートフォリオ

	考える	
5	投票率について ・若者の政治参加を考える	◇具体的な資料やデータを用いる ◎レポート
6	国会と立法 ・国会議員はどうあるべきか	◇山形県出身の国会議員を取り上げる ◎ポートフォリオ
7	内閣と行政 ・内閣が国民に果たす役割を考える	◎ポートフォリオ
8	地方自治と住民福祉 ・住民の意思を地方自治体に反映させる方法 ・どう自分の意思を伝えるかを考える	◇具体的に住民の働きかけによって成し得たことを取り上げる ◎レポート
⑨	地方自治体への政策提言① ・高島町への政策案を考える	◎Google Jamboard
10	地方自治体への政策提言② ・各グループの政策案を比較検討する	◎Googleフォーム

本時の指導

(1) 本時の目標

- ・高島町の課題・問題を把握し、実現可能な政策案を考えてまとめる。

(2) 指導の過程 (50分)

分	□学習活動 ○発問 ☆指示等	■指導上の留意点 ◎評価 ◇支援
導入 5分	□前時の学習プリントのまとめを確認 □本時の活動と目標を確認 □Jamboardを確認	■classroomを開かせておく
展開① 15分	□グループワーク「高島町へ政策・条例を提言しよう！」 ①指定のグループになる ②Jamboardの課題として取り組んできた箇所を確認する ③自分が入力した政策・条例案について、互いに説明する	■事前に課題としてJamboardに入力するように指示している。 ■課題に取り組んできた箇所に追加がある場合は付け足してよいことを伝える。
展開② 25分	□政策・条例案を深める □政策・条例案の根拠を考える	◇高島町のHPを参考することを伝える。 ※特に予算や今取り組んでいること ◇他市町村での取り組みなどにも目を向けるようにすることを伝える

まとめ 5分	○リフレクションシートを記入する。	
-----------	-------------------	--

(3) 評価基準

①主体的、積極的にグループワークに取り組んでいるか。

(主体的に学習に取り組む態度)

②これまでの学習を通して、自分の考えをまとめ、表現することができるか。

(思考・判断・表現)(思考・判断・表現)